

稚内労働基準監督署からのお知らせ（令和7年10月）

1 労働災害発生状況 ～先月と比較し前年同期比が縮小、労働災害が引き続き増加傾向～

令和7年9月に確認した労働災害件数は8件でした（うち、休業1か月以上は4件）。令和7年の労働災害は9月末現在で68件（前年同期比-2件）、新型コロナウイルス感染症によるものを除くと67件（前年同期比+10件）となっており、このまま推移すれば新型コロナウイルスを含めた災害件数でも前年比を超えることが見込まれます。

災害増加が目立つ業種は、**畜産業、漁業、建設業**です。事故の型（全業種）は多い順に**墜落・転落**16件、**巻き込まれ・はさまれ**12件、**転倒**11件です。特に、墜落や機械への巻き込まれは、死亡、後遺障害に繋がるリスクが高まります。

どの事業場も、労災を発生させたくて発生させたわけではないと思います。労災が増加傾向にあり、対策すれば防げたはずの墜落、巻き込まれも多いことを踏まえ、各事業場で現状の安全衛生対策は十分かどうかのご検討をお願いします。

2 労働災害事例（括弧内は年齢性別、休業見込期間）※抜粋

【製造業】

・ベルトコンベアの清掃作業中、ホタテの貝殻がベルトコンベアに挟まっているのを取ろうとして、被災者が運転中のベルトコンベアに左手を入れたところ、ベルトコンベアに左腕前腕が巻き込まれて骨折したものの。（20代男性、休業14日間）

・ガス抜き穴を開けていた空ドラム缶の上部を、被災者が電気工具を使用して切断していたところ、ドラム缶内に残っていたガスに引火し、その火が被災者の衣服に燃え移って両足を火傷したものの。（60代男性、休業2か月）

【畜産業】

・被災者が給餌機を運転中、自走する自動給餌機が向かってきたことに気付かないまま給餌機を後退させたところ、自動給餌機と給餌機の間で被災者が挟まれ、左手を骨折したものの。（20代女性、休業3か月）

【漁業】

・海上で、船べりに八尺を配置しようとしたときに、船体が大きく揺れたので、被災者ともう1名が八尺を抑えようとしたところ、被災者の左足に負荷がかかり、左ひざ後十字靭帯を損傷したものの。（50代男性、休業12日間）

・定置網を引き上げる作業中、ロープと船体の間に右足が挟まれ、右ひざを捻挫したものの。（20代男性、休業4週間）

○10月1日から10月7日までは「全国労働衛生週間」です。

本年も厚生労働省では「ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場」をスローガンとして展開いたします。つきましては、本週間の趣旨をご理解いただき、特段のご協力をお願いします。

詳細は、下記二次元コードにある「令和7年度全国労働衛生週間実施要綱」をご参照ください。

○10月1日から「建設工事追い込み期労働災害防止運動」を展開します。（令和7年10月1日～12月31日）

北海道における建設業の労働災害は、例年追い込み期に当たる10月から12月に多発する傾向にあり、特に死亡労働災害は過去5年間の同時期の死亡者数を労働局別に比較すると、北海道が全国最多、突出して多い状況にあります。

このため、本年度も「建設工事追い込み期労働災害防止運動実施要綱」により同運動を展開いたしますので、本件取組について特段のご理解とご協力をお願いします。同運動の詳細につきましては下記二次元コードをご参照ください。

○当署管内の1名、2事業場が「令和7年度安全衛生に係る北海道労働局長表彰」を受賞しました！

令和7年9月18日、令和7年度第44回北海道産業安全衛生大会において、安全衛生に係る優良事業場及び功労者に対する北海道労働局長表彰が行われ、当署管内からは功績賞1名（峰友 武氏）、奨励賞2事業場（よつば乳業（株）宗谷工場、（株）大林組 札幌支店 道北風力発電事業樺岡ウインドファーム建設工事）が表彰されました。詳細は、右の二次元コードをご参照ください。



○農業・畜産業の労務管理・労働災害防止オンライン説明会を実施します。（令和7年10月～令和8年1月）

北海道労働局では10月～1月にかけて毎月、農業・畜産業のオンライン説明会を実施します。→

この説明会は主催者に関係なく、どの説明会でも参加することができます。（稚内署：1月15日）

当署管内では労働災害が増加している外、法で義務付けられた労働条件通知書の未交付や労働時間管理のあいまいさに起因する所定外労働に対する賃金不払の相談が寄せられています。

労働災害防止、会社・労働者共に働きやすい環境作りのため、この機会に是非ご参加をお願いします。



先月の労働者死傷病報告書（休業4日以上）の受付状況

製造業	2件	
建設業	1件	
道路貨物運送業	件	
林業	件	
その他の事業	5件	（社会福祉施設1、漁業3、畜産業1）
計	8件	



建設工事追い
込み期労働災
害防止運動



全国労働
衛生週間

※労働災害の発生月と労働者死傷病報告書の提出月は異なる場合があります。

※紹介している労働災害事例は確認された労働災害の一例であり、災害件数と事例数は異なる場合があります。